

# 保健研究部

大阪市立幼稚園51園の養護教諭で構成している研究組織です。子どもたちの健やかな成長を願い、討議会や情報交換を通して資質向上に努めています

令和6・7年度 研究主題

生命(いのち)の安全教育を通して、自分の体に関心を持ち大切にしようとする心を育む

## 衣服の着脱についての保健指導

プール遊びが始まり、着替える機会が増える前に、プライベートパーツについて知らせ、「大切な場所であるから見せたり触らせたりしない」ということ知ってほしいと思い、プライベートパーツに配慮した水着の着替え方を指導することにしました。

### 教材

体のイラストに服を貼ったりはがしたりして、着せ替えできるもの

#### A 幼稚園



#### C 幼稚園



#### B 幼稚園



着替えの順番を掲示して幼児がいつでも確認できるようにしたもの



スケッチブックシアター  
保育室の写真を使って、幼児が着替えの状況をイメージしやすくしたもの

## 指導の様子



プライベートパーツに配慮した着替え方について、脱ぐ順番や着る順番を部員で話し合いました。話し合った着替え方を基に、各園で担任や教職員と相談し、プライベートパーツを考慮することを重点に置いて、幼児の実態に合わせた着替え方を伝えました。

## 指導後の幼児の変容

- パンツを脱いだ後に、すぐに水着を着ようとする幼児が多く見られた。
- 掲示している教材を見ながら「最後にパンツを脱ぐんだよ」と確認しながら着替えていた。
- 「(プライベートパーツは)見せたらあかんねんで」と友達に伝えていた。



全体指導だけでなく、

教職員で指導内容を共有し、  
着替えのたびに共通した声掛け



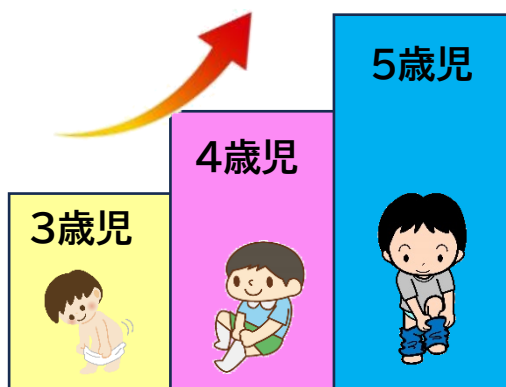
着替え方の定着

指導した着替えの順番で  
着替える幼児が増えてきた

また、家庭と連携して取り組めるように保護者啓発を行いました。プレゼンテーション資料を使ったり、ほげんだよりや各園のホームページに保健指導の内容を載せたりして、保護者に知らせました。



## 発達段階に合わせて継続的に指導



今回の指導を通して、3歳児の発達段階においてプライベートパーツについて意識付けするのは容易ではなく、着替えに介助が必要な幼児も多いため、発達段階に合わせて継続的に指導していく必要性を感じました。

今後も、教材研究や指導内容の工夫に努めるとともに、教職員、保護者と連携して、生命(いのち)の安全教育に取り組んでいきたいです。

